

令和元年度 佐久市総合計画審議会 第3部会（第1回） 会議録

日時：令和元年7月10日（水）

午前10時～

場所：佐久市役所602会議室

【出席者】7名

【事務局】若林企画課長、木下企画調整係長、大井（哲）、大井（麻）、大内

1 開 会

2 議 事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

	【基本目標③】 進行管理について
事務局	今回は、平成30年度の実績評価についてご意見をいただきます。総合戦略については中間評価であることから、KPIの推移や事業の成果を審議の視点として、「当該事業は地方創生の実現に当たって効果がある」、あるいは「当該事業はこうしたら効果が上がるのではないか」といったご意見をいただきたいと思います。
部会長	それでは、評価報告書36ページから説明をお願いします。
事務局	【基本目標③】（1）若い世代の経済的安定 ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減（P23） イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援（P24）について説明
委員	23ページ「ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減」のKPI「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付事業の活用件数」について、平成29年度実績までで検証は終了し、基本目標②のKPIに継承していくということでしたが、第3部会における検証は終了ということによろしいでしょうか。
事務局	第3部会の中で本KPIについてご意見をいただくことは終了します。ただし、説明のとおり、若い世代の労働に係る支援という観点では、第2部会の方で引き続き佐久市として支援の検証を行っていく想定です。

委員	<p>継承されるということですが、基本目標②- (2) -ウ「無料職業紹介事業（地方版ハローワーク）により紹介した求職者を市内企業が採用した人数」については、対象範囲が広がって若い世代に限らないものと見受けられるため、観点が異なるのではないのでしょうか。</p> <p>なお、時限措置が終了したために検証を終了するという点について、疑義があります。成果が上がってきているものなので、包括的に大きな枠組みの中に入れてしまうのではなく、検証の形を検討していただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>本件について、直接的に図れる KPI としては、終了扱いで対応させていただきますが、所管課と相談の上、若い世代の雇用に関して翌年度の検証欄にはより適切な数値が載せられるよう検討を進めていきたいと思えます。</p>
委員	<p>23 ページ「ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減」の KPI「第3子以降の出生率」について、平成30年度実績値は目安値を下回っているものの、それでも基準値を上回っているから一定の成果は見込めるという分析をされていますが、なぜ順調に上昇してきたものが平成30年度で減少しているのかについて説明が欲しいです。</p>
事務局	<p>全体的な出生数が減少している中で実績値が基準値を上回っていたため、成果が出ているという分析をしていましたが、目標設定当初に全体的な出生数の減少を踏まえられていなかったこともあり、今回目安値を達成できていない点についての分析・検証が不足していたことについては、所管課に伝え、今後の事業に生かされるよう進めていきます。</p>
委員	<p>24 ページ「イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援」について、目安値に届いていない現状に対し、分析には周知を行っていると思いますが、周知が足りていないから支援制度の利用が少ないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>方針の欄に記述のとおり、今後は佐久市母子寡婦福祉会と連携するなど考えていますが、抜本的な解決策についても検討を進めるよう所管課に共有します。</p> <p>また、周知の不足による利用率の悪さということも考えられる一方で、全く使われていない制度については、ニーズそのものが無かった可能性も考えられるため、現在作成中の第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合</p>

事務局	戦略では、考慮して策定を進めたいと思います。
委員	このことについて、民生委員としても周知を図っているところではありますが、対象者本人が困窮していることを対外的に認めたくない実情が多く見受けられ、広報や訪問による周知があまり効果を生み出せていないと考えられます。社会全体が困窮者を認めるように変わっていく必要があると思います。
部会長	<p>それでは、他にご意見などはございませんか。</p> <p>ないようでしたら、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p> <p>【基本目標③】(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援</p> <p>ア 恋愛・結婚の支援 (P25)</p> <p>イ 安心して出産を迎えるための支援 (P26) について説明</p>
委員	25 ページ「ア 恋愛・結婚の支援」の KPI「イベント参加者の成婚数」について、これは社会福祉協議会（以下、「社協」といいます。）のデータでしょうか。
事務局	市のデータです。なお、本事業は市が社協に委託しています。
委員	<p>再婚希望者にターゲットを上げるなどの工夫を取り入れていかないと、イベント参加者数が減少し続けてしまうと思います。</p> <p>また、この KPI に限ったことではありませんが、市全体の人口が減少していることを踏まえ、子育て世代数のデータなど様々なものをお示しいただいた上で考えないと、この部会の中で分析するには資料が不足しているように思います。</p>
事務局	第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっては、ご指摘のとおり、部会の中で審議いただくのに相応しいものとなるよう検討していきたいと思います。なお、再婚等ターゲット設定に関するご提案に

事務局	については、所管課に伝えたいと思います。
委員	26 ページの「イ 安心して出産を迎えるための支援」の KPI「出産を迎えるための佐久市の支援に対する満足度」について、目安値及び目標値が全て 50%と設定されていますが、毎年同じ数値を設定した理由は何でしょうか。
事務局	KPI 設定当時は満足度調査を行っていなかったことから現状値（基準値）が無い状態だったため、ある程度想定を元に数値設定した経過があります。
委員	26 ページの「イ 安心して出産を迎えるための支援」の KPI「浅間総合病院における出産件数」について、浅間総合病院に限定すると医師数等の変動といった要因によって大きく影響を受けるとは思います、市内の他の病院も含めないと実態がつかめないのではないのでしょうか。
事務局	KPI を設定し、PDCA サイクルを回して改善していこうとする中で、様々な要因が影響していくことは想定されますが、浅間総合病院は市の直営ということもあり、市がある程度の環境整備等をコントロールしながら改善を行っていくモデルとして KPI 設定したという経緯があります。
部会長	それでは、他にご意見などはございませんか。 ないようでしたら、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。
部会長	(異議なし) それでは、次の説明をお願いします。
	<p>【基本目標③】(3) 子ども・子育て支援の充実</p> <p>ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援 (P27)</p> <p>イ 未就学児の保育・教育環境の充実 (P29)</p> <p>ウ 子育て支援拠点の機能の充実 (P30)</p> <p>エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援 (P31)</p> <p>オ 様々な悩みを持つ家庭への支援 (P32)</p> <p>カ 小中学校の教育環境の充実 (P33) について説明</p>
委員	31 ページの「エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援」

委員	のKPI「子育て支援サイトへのアクセス数」とKPI「利用者支援事業の利用件数」について、これは関連があるのでしょうか。
事務局	別の事業です。後者については、(説明の中で)実績値が目安値に及んでいないものの、増加の傾向にあるという主旨で説明させていただきました。
委員	目安値に対し実績が大きく届かない状況は、目標設定が間違っていたという認識でよいのでしょうか。
事務局	本事業は、事業名称がわかりづらいというご指摘を受け、昨年度から「子育てなんでも相談室」と事業名称を変えて取り組んでいます。微増傾向にある点は、徐々に周知が進んできた結果と捉えていますが、依然として目標には届いていない状況です。
委員	市民に届くようにするためには、名称のわかりやすさも大切であり、そのような改善の取組が重要だと思います。
委員	27 ページの「ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援」のKPI「適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合」について、実績値が100%となっていますが、参考データの受診率の記述を見る限り届いていないようなので説明をお願いします。
事務局	対象者が健診を受診していない場合においても、電話や訪問で確認が取れているため100%としています。
委員	28 ページの「ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援」のKPI「園や家庭で、自発的に運動をする年長児童の割合」について、実績値をどのように計っているか説明をお願いします。
事務局	確認します。(内容確認後、伝達) 補足説明となりますが、28 ページの「ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援」のKPI「園や家庭で、自発的に運動をする年長児童の割合」について、実績値の取り方は、保育士が年長児に対し「おうちで走ったりなわとびしたり運動している人？」と問いかけ、挙手数を集計した実績であることがわかりましたので報告します。

委員	子どもに聞いた数値というのは、第三者が俯瞰的に見て計測したものよりもよいと思います。
委員	29 ページの「イ 未就学児の保育・教育環境の充実」について、今後の方針として、引き続きニーズに対応・把握といった記述が見られますが、こういった手法なのか具体的に説明をお願いします。
事務局	アンケート調査で計る中では様々な要素があがってくるため、未就学児の保育や教育についても把握しながら、書き方として総括的なものになっていました。KPI を図る指標として適切であるかについて検討したいと思います。
委員	同 KPI に関して、目安値及び目標値の設定が3割ということですが、目標として低いように感じます。
事務局	100%の満足度に近いほどベストであるという認識はしていますが、本 KPI については改善を目指すところに重きを置いて設定しているということです。目標が低いというご指摘の点についても否めないと思います。 また、アンケートの回答として「どちらでもない」と答えている人が大多数で、子育て世代以外の市民にも調査している背景が影響しています。調査の手法については検討していきます。
委員	30 ページの「ウ 子育て支援拠点の機能の充実」の KPI 「小学生低学年の児童館利用率」について、今後の方針に利用率の向上を図る旨の記載がありますが、児童館利用の要因が共働き等によるものと推察します。利用率の向上を図るという方針が適切であるか、表現の再検討をお願いします。
事務局	他の KPI についても、相談件数の増を指標としているものがありますが、全てがいいこととは限らないと理解しています。一方で、様々な取組を進める中で、その利便性を上げ、児童館や相談窓口を使ってもらうことが子育て支援のひとつの方策になることも確かであると考えます。1つの KPI で全てを測ろうとするのは難しい側面がありますが、より良い設定について、次期総合戦略策定に向けて検討していきたいと思います。
委員	実態として希望して利用している児童だけではないので、目安値及び目

	<p>標値の係数自体は、設定されている程度でよいと思います。</p>
委員	<p>31 ページの KPI 「子ども未来館の来館者数」について、今後も来館者数を計っていくと人口に関連していずれかの時点で減少傾向に転じると想定されますが、指標として適切でしょうか。</p>
事務局	<p>子ども未来館については、オールマイティパスもあり、市の観光施設的な側面も持っています。したがって、子育て支援拠点の機能の充実という観点の中で、来館者数の増加が本質的に市の子育て支援につながっているのか検討する余地があると認識しています。次期総合戦略の策定に向け、検討していきます。</p>
委員	<p>32 ページの「オ 様々な悩みを持つ家庭への支援」の KPI 「子ども特別対策推進員による家庭児童相談のうち関係機関と連携して対応した数の割合」について、他機関との連携を必要としなかったという記述がありますが、昨今のメディア情報を見る中では学校と児童相談所の連携不足によって大きな問題が発生するなどのケースが散見されます。軽微なものであっても関係機関の連携が必要になってくると考えますので、分析の内容については再検討をお願いします。</p>
事務局	<p>所管課に伝えます。</p>
委員	<p>33 ページの「カ 小中学校の教育環境の充実」の KPI 「学校教育」についての満足度」について、学校の存在意義は勉強だけでなく運動やスポーツなどにもあります。例えば、最近ではある地域の学校で部活動が廃部になってしまった件について再開を学校サイドと協議したものの、教職員の労働時間を短縮するよう佐久市から指導されているとの理由から不可となったケースとお聞きしています。教職員の多忙さについては理解できる場所ではありますが、こういった現状を重く受け止めたいと思っています。KPI の満足度の計り方に関しても、「順調」とは言え近い満足度で推移している経過もよく検討していただきたいです。</p>
事務局	<p>満足度については、1,000 人の無作為に抽出した市民に対し、アンケートを取っているため、まさにその問題に直面している人でないと、「どちらでもない」という回答が増加する傾向にあります。様々な要素を踏まえて次期総合戦略の策定を進めていきます。</p>

委員	<p>こういった場合、子どもたちに直接アンケートをとるとよいのではないのでしょうか。</p>
部会長	<p>ほかにはご意見などはありますでしょうか。 ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明を事務局からお願いします。</p> <p>【基本目標③】(4) 仕事と生活の調和の実現 ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援 (P34) イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発 (P34) 数値目標 (P23) について説明</p>
委員	<p>34 ページの「ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援」の KPI 「社員の子育て応援宣言！」登録企業数」について、市内の企業数は何社ありますか。</p>
事務局	<p>事業所数は数千社あります。</p>
委員	<p>よくわからない指標だと思います。何社ある内の何パーセントずつ増加を目指していく、という指標の方がよいかと思いました。また、登録することよりも実態がどうであるかの方が重要であると考えますので、そちらを計るよう検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>34 ページの「イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発」の KPI 「男女共同参画推進事業者表彰件数」について、表彰の基準がわかりませんが、表彰されることでこういった効果があるのか見えないため、指標設定の適切性について疑義があります。</p>
事務局	<p>前提として、女性の両立を社会全体で支えようという方向性が戦略の中にあり、その達成のために進捗を計る基準は何かを検討し、その経過で表彰件数をひとつの指標として設定したところです。次期総合戦略の策定に向けて、検討していきたいと思います。</p>

委 員	34 ページの「ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援」の KPI 「社員の子育て応援宣言！」登録企業数」について、登録の基準は何がありますか。
事務局	本事業は、県の事業ですが、企業が応援を宣言することが登録要件になっています。入札参加資格審議で一定の評価がされるほか、企業の働きやすさの対外評価にもつながります。
委 員	こちらの広報は、市広報紙ではなく、市ホームページにおける掲載を行っていますか。
事務局	県のチラシと市ホームページで広報しています。
委 員	自分で探しにいかないと見られないということですか。
事務局	市内事業所へ直接チラシをお配りしています。
委 員	34 ページの「イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発」の KPI 「男女共同参画推進事業者表彰件数」について、表彰の事例などは市ホームページで公表されていますか。例えば、女性が佐久市で就職先を探すに当たってこうした表彰があることは、会社探しに役立つ気がします。
事務局	市ホームページで公表しています。また、表彰式をイオンモール佐久平で行うことなどによって、多くの人に事業の周知を図っているところです。
委 員	これから会社を探す人にとって良い指標になるかもしれないと思います。
事務局	企業側が対外的に PR する材料にもしてもらいたいと考えています。
委 員	事業の実績を市広報に掲載していても、読んでいる人が少ないという現状がありもったいないと思います。コラム連載等市民の目につきやすいかたちで PR してはどうでしょうか。
事務局	情報発信の仕方については努力の必要があると感じています。シティプロモーションを含め、情報発信を大切にしていこうと考えています。

部会長	<p>予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。</p> <p>それでは、【基本目標③】についての意見は、事務局において取りまとめ後、部会長一任ということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>本日いただいた意見は、他の部会で出た意見と一緒にまとめさせていただいて、まとめたものを委員の皆様にお返しさせていただきます。</p>

(2) その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」

日程について説明（令和元年7月17日（水）10時から 602会議室）